

狭山市都市計画基本図更新業務委託 家屋図データファイル特記仕様書

この特記仕様書は、標記業務における家屋図データファイルにおける詳細要件を定めるものである。

(家屋図データファイルの仕様)

第1条 本業務で構築される家屋データファイルは、以下の仕様を満たすものとする。

No.	データ項目名称	データ構造と入力仕様
1	家屋外形	- 写真図から、家屋外形を正確に数値化し、一棟毎に一つの面を構成する。 - 図郭を跨ぐ家屋に関しては、図郭を境として分割することはせず、重心が所属する図面に所属させることにする。ただし、出力図においては、図郭で分割された形で正確に描画する。 - 隣り合った家屋については、隣接する壁を共有するよう、ノード、リンクに分割した上で、それぞれ独立した面を構成する。なお、棟割線については、別レイヤーとする。
2	家屋補助線	- 家屋の形状を把握しやすくするために付加情報として入力するものであり、線データとして入力する。 - この線は、家屋外形とは別レイヤーとし、家屋の面構成の要素とはしない。
3	家屋棟番号	- 家屋棟番号は、家屋課税マスターと突合できるように、同じ値とし、上記の家屋要素とは別レイヤーの文字データとして、互いに重ならないように配置する。 - 増改築された家屋の棟番号は、旧家屋を棟割線で分割し、そのそれぞれに配置する。 - 文字列は、原則として家屋面内に包含されるように入力することとし、家屋面が小さすぎて包含できない場合には、文字列の左下原点を包含させるようにする。 - 図郭に跨がる家屋に対する家屋棟番号は、その家屋の中心が含まれる図面内に配置する。

(家屋図データファイルのチェック)

第2条 家屋データファイルの品質確保のために、以下のチェックを実施するものとする。

成果品が、上記の家屋データ仕様を満足していることを保証するために、特に次のデータチェックを行うものとする。

No.	データ項目名称	チェック要件
1	家屋外形	- 家屋面がすべて一つのレイヤーに包含されることをチェックする。 - 一棟毎に正確に面を構成していることをチェックする。 - 面に所属しない線データが存在しないことをチェックする。 - 図郭を跨ぐ家屋が、二重に入力されていないことをチェックする。
2	家屋補助線	すべてが線データとして、同じレイヤー内に、同じ線種、太さで入力されていることをチェックする。

3	家屋棟番号	・すべての家屋棟番号がいずれかの家屋面内に包含されることをチェックする。
---	-------	--------------------------------------

(家屋図データファイルの定義)

第3条 本業務で作成する家屋図データファイルは、以下の定義形式に従い作成するものとする。

(1) 座標系：世界測地系 測地成果 2011 (JGD2011)

平面直角座標の種別：平面直角座標第IX系

(2) データファイル定義

① 家屋図_線

No.	項目名称	データタイプ	全桁数	小数点以下桁数	備考
1	建物線種	Long	-	-	300100：普通建物 300300：普通無壁舎 300900：棟割線
2	備考	Text	8	-	-

② 家屋図_面

No.	項目名称	データタイプ	全桁数	小数点以下桁数	備考
1	所在	Text	20	-	-
2	家屋棟番号	Text	10	-	-
3	図形面積	Double	9	2	-
4	備考	Text	14	-	-

③ 等番号

No.	項目名称	データタイプ	全桁数	小数点以下桁数	備考
1	所在	Text	20	-	-
2	家屋棟番号	Text	10	-	-
3	備考	Text	14	-	-

以 上